

1938  
2011  
9/15

# 府報の友

発行所/大阪府関係職員労働組合  
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59  
電話 06(6941)351・内線3740  
直通06(6941)8079 FAX06(6941)4541  
Eメール info@fusyokuro.gr.jp  
URL http://www.fusyokuro.gr.jp  
発行人/平井賢治 編集人/小山智美  
(1部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。

「職員基本条例」撤回を  
めざす学習決起集会  
●日時 9月28日(水)午後7時~  
●会場 エル大阪 6階大会議室  
●講演 「職員基本条例」の問題点について(仮)  
講師:弁護士 城塚健之さん

# 「維新2条例案阻止へ」 府民集会に1200人が参加



会場あふれる参加者で熱気あふれる府民集会



政治の介入による公教育破壊と、ものいね府民・職員づくりをねらう  
「教育基本条例案」「職員基本条例案」を許さない府民集会

## 教育への政治支配許すな、知事言い なりのもの言わぬ職員づくり反対

9月6日、政治の介入による公教育破壊と、ものいね府民・職員づくりをねらう「教育基本条例案」「職員基本条例案」

の呼びかけで開催されました。集会には教職員や自治体職員をはじめ、多数の府民が参加し、会場に入りきれない1200名の参加があり、大きく成功しました。大阪弁護士会憲法問題特別委員長武村氏は、「条例案は教育の自主性と政治からの中立を損なう、憲法と法律に反するもの。また、権力で物言えぬ職場、職員

づくりのやり方にノーをつきつけよう」と訴えました。リレートークで、小山府職労書記長は、「条例案の真の狙いは、物言わぬ職員づくり、職員支配を強化し、関西財界言いなりの政策を進めることができる独裁府政です。府職労は、憲法・地方自治を守り、福祉や教育、医療など、府民の生活と権利をもち守り、府民要求

の前進めざし、広範な府民との共同を進め、橋下独裁政治から府政を府民の手に取り戻すため全力で奮闘する」と決意を表明しました。大阪維新の会の「教育基本条例案」「職員基本条例案」提出は、子どもたちの成長・発達を保障する教育行政をすすめるのか、住民の福祉の増進、命とくらしを守る地方行政を

すすめるのか否かが問われる重大問題です。8団体が発表した「府民のみなさんへのアピール」を多くの府民にとどけ9月大阪府議会・大阪市議会での「大阪維新の会」の政治的暴走を許さず、「教育基本条例案」「職員基本条例案」の強行を許さない府民共同のたたかいをすすめます。

## 成人病センター移転も見直すべき

### 「府庁舎は大手前がええ、成人病センターは森ノ宮がええ」

9月1日防災の日、府庁舎は大手前がええ、成人病センターは森ノ宮がええの集會が開催されました。橋下知事は専門家会議の指摘で、府庁舎のWTCへの全面移転を断念しました。また、成人病センターを大手前に移転することを前提にした2回にわたる大手前・森ノ宮の住民説明会では、「街こわしだ」と住民は移転反対の意思を示しました。しかし、住民の意思に反し、31日戦略本部会議で大手前移転の府の方針が決まりました。

この集會は、大手前・森ノ宮街づくり研究会、成人病センター周辺住民有志の会と府職労が共催する、住民と自治体の労働者が一致

する要求で取り組んだ集会です。150人の参加で会場は満杯となりました。中山徹奈良女子大学教授は講演で、成人病センターの移転は知事の思い付きではなく、財界の意に沿って府庁をベイエリアに移転し

活性化させようとする太い流れの中で起きた問題として、「庁舎の全面移転を断念した時点で成人病センター移転も見直すべき」と指摘しました。

「街づくりに重要なのは歴史の蓄積。地域の人々がどれだけ愛着を持って

森ノ宮の町会の役員の方から、街づくりへの思い、成人病センターへの思いが語られ、府職労からは、「危険な咲洲庁舎から職員を戻せと運動を広げていきたい」、参加者からは、「森ノ宮で立て替えるよう頑張りたい」との発言があり大きな拍手が起りました。



150人の参加で会場はいっぱいに

着を持って、愛着をもてる人を育てられるかです。府の方向を変えることも展覧して街づくりに取り組んでほしい」と語りました。大手前と



講演する中山徹教授

## 遊歩道

小学生のと  
き埋めたタイ  
ムカブセルを  
開くという話  
があり、少し  
ぶりに母校に  
行った。20年ぶりに会う  
人もいて、懐かしさもあ  
り、うれしくも感じた。  
▼ワクワクする中、タイ  
ムカブセルは、無事に掘  
り起こされ、中身を一人  
一人に渡された。当時の  
ことや20年後の自分がど  
うなっているか、絵も交  
えながら書かれていた。  
▼当日事情で来れない人  
もいるため、今日来てい  
る人でのひとたちに手  
渡そうということになっ  
た。私は何気なく来てい  
ない人の作文を見ていた  
のだが、ふと一つの作文  
に目が止まった。当時、  
いじめられていた女の子  
のものだった。振り返っ  
てみても、相いじめら  
れていたのを思い出した  
その女の子のことを思い  
出しながら読んでみた。  
▼いろんなことが書かれ  
ていたが、最後の項目で  
20年後どうなっているの  
か、という欄に、「み  
んな元気できてほしい」と  
一言書いてあった。タイ  
ムカブセルを開けて、  
一番心に響いた瞬間だっ  
た。▼今でも、心の優し  
い女性でいてほしい。  
(N)





大阪労連 第43回 定期大会

大阪労連

9月3日、全大阪労働組合連合(大阪労連)第43回定期大会が、阿倍野区民ホールで開催されました。

「国民本位の震災復興・原発ゼロ、大企業中心の政治を転換し、暮らしと雇用、民主主義を守ろう」をスロ

ガンに、2012年度運動方針を決定しました。開会あいさつで川辺議長は、福島第一原発事故の本質は、「構造改革」の名で

そのものだとし、自民・公明との大連立の動きに触れ、自治体のあり方を問うもの

# 国民本位の震災復興・原発ゼロへ 政治を転換し、暮らし守ろう

## 大阪労連第43回定期大会

# 大阪府関係職員労働組合 大阪府立病院機構労働組合 役員選挙

9月28日(水)投票が行われる役員選挙で、下記のとおり立候補の届出がありました。いずれの役職も定数内の立候補なので、信任投票となります。

### ●本部

- 執行委員長候補(定数1名) 橋口 紀塩(土建支部住宅経営分会)
- 副執行委員長候補(定数3名) 芝山 光代(成人病センター支部) 有田 洋明(土木現場支部寝屋川水系分会) 小山 光治(土木現場支部枚方土木分会)
- 書記長候補(定数1名) 小松 康則(府税支部中河内分会)
- 書記次長候補(定数1名) 前田 治敏(健康福祉支部相談所分会/吹田子ども家庭C班)
- 会計候補(定数1名) 中村 一幸(商工労働支部計量分会)
- 執行委員候補(定数6名) 田岡 康秀(総合医療C支部) 田中 克義(総務支部財産活用分会) 吉田 澄世(保健所支部守口分会) 野寄 法彦(保健所支部豊中分会) 小山 国治(府税支部なにわ東分会) 峰松 泰(教委支部教育振興分会小中学校課班)
- 府職労執行委員候補 前田 仁美(保健所支部四条畷分会) 高本 幸義(土木現場支部枚方土木分会)
- 会計監事候補(定数2名) 嶋野 延男(農林支部北部分会) 渡部みどり(土建支部建築振興分会)

### ●現業評議会

- 議長候補(定数1名) 小池 正夫(府税支部泉南府税分会)
- 副議長候補(定数1名) 田守 隆一(保健所支部泉佐野分会)

### ●女性部

- 部長候補(定数1名) 森 かすみ(保健所支部池田分会)
- 副部長候補(定数3名以内) 田中しのぶ(健康福祉支部障がい者C分会) 福田佐代美(土木現場支部西大阪治水分会) 菊本 浩子(総合医療C支部外来分会)
- 書記長候補(定数1名) 中野千恵美(保健所支部八尾分会)

### ●青年部

- 部長候補(定数1名) 堀野 英昭(健康福祉支部砂川分会)
- 副部長候補(定数2名以内) 登 孝弘(呼吸器・アレルギー/医療C支部8B分会) 谷 優(土建支部住宅経営分会)
- 書記長候補(定数1名) 荒木 大地(土木現場支部寝屋川水系分会)

### ●府立病院労組

- 執行委員長候補(定数1名) 芝山 光代(成人病センター支部)
- 副執行委員長候補(定数1名) 山本 桃代(呼吸器・アレルギー/医療C支部8B分会)
- 書記長候補(定数1名) 田岡 康秀(総合医療C支部事務・現業分会)
- 書記次長候補(定数1名) 木村 明美(総合医療C支部9W分会)
- 会計候補(定数1名) 山上 日出子(総合医療C支部現業分会)
- 執行委員候補(定数2名) 村下 正人(総合医療C支部) 西 和人(総合医療C支部臨工・診療記録管理分会)
- 会計監事候補(定数2名) 東 一郎(成人病C支部) 有井 洋子(呼吸器・アレルギー/医療C支部2A分会)

# 児童福祉の現状Ⅱ ⑤

健康福祉支部書記長 前田 治敏

よる調査にもとづく社会診断、児童心理司による心理診断、医師による医学診断、その他の診断をもとに総合診断を行い、問題の改善についての指導を行う。」と大阪子ども家庭白書に記載されていますが、この役割の中心を担うのがCPです。支部では、とりわけ東大阪・池田・富田林の3センターの虐待対応課CPが地域相談課CPの業務解消には力を入れてきました。福祉部交渉では、虐待対応課を設置した2000年度と08年度と比較すると心理指導件数は中央2倍、東大阪3・9倍、池田1・9倍、富田林1・5倍、吹田2・5倍、岸和田2・8倍となっており、これは10年に東大阪子家CのCP兼務解消、11年に中央子家CのCP1名増員となり、引き続き、引き続き、池田・富田林西子家CのCP兼務解消が急務です。しかし、一部増員はあるものの、全国的に見ると、表のとおりまだまだ大阪府の体制は脆弱です。①児童相談所以下、児相の相談対応件数をCP数で割った場合、CP1名：件数615件で全国1位。全国平均を基準に試算すると、CP75名が必要が36名不足③児相が行政権限で措置した児童の心のケア(心理療法)は、入所後も施設と連携し実施する必要が

## 最低レベルのCP配置体制

以前、府内6子ども家庭センター(以下、子家C)で児童心理司以下、CPがケースを持たない補佐を含め39名配置されているとお伝えしました。子家Cの機能については、「子ども及び家庭については、子ども及び家庭について、児童福祉司に

項目	①	②	順位	必要数
① CP1人あたりの相談対応件数	大阪府	39	1位	75(+36)
	全国	1162		
② CP1人あたりの心理診断指導対応件数	大阪府	39	7位	57(+18)
	全国	1162		
③ CP1人あたりの児童福祉施設在籍児童数	大阪府	39	7位	53(+14)
	全国	1162		
④ ケースワーカー(CW)とCPの配置比率	大阪府	3.54	2位	61(+22)
	全国	2.25		
⑤ CP1人あたりの人口比率	大阪府	14	9位	53(+14)
	全国	11		
⑥ CP1人あたりの心理療法・カウンセリング等件数	大阪府	39	42位	-
	全国	791		

※数値は、厚労省統計数値による。

も最低レベルで、府民関係機関からのニードの高い心のケア(心理療法)が行いにくい実態となっています。子どもと関わる中で重要な要素の一つに、タイミングのよさというものがあります。そのためには、意識が高くとも物理的・人的な不足があればタイミングを失うことになると、子どもにも、保護者や施設職員・関係機関職員など援助する人にもよくありません。そのためにも、人員増が必要で